

### はじめに:問われるマニフェストの意義

昨年の『マニフェスト白書』において、「今回ほど頭を悩ませたことはない。なぜなら、マニフェストを提示して選挙に勝利した首相と現在の首相が異なり、かつその新しい首相が(中略)国政選挙を経ずして新しいビジョンや政策を打ち出してきたからである」と述べた。検証を始めて4年目の今回は、さらに状況は複雑となった。昨年7月の参議院選挙で新たなマニフェストをもって闘った安倍政権は、野党に過半数の議席を奪われるという結果を招き、さらに選挙後二月も経たないうちに退陣、福田康夫に政権を委ねることになった。そして、その福田康夫もまた国政選挙を行わず、一年弱で突如退陣したのである。

このような状況に接し、マニフェストを検証する立場としては、戸惑うばかりである。この文章を書いている段階では次期首相は決まっておらず、総選挙もこれからとなる。福田政権は国政選挙を経験しておらず、したがってマニフェストを掲げたことがない。その前の安倍政権はみずからのマニフェストを掲げて参議院選挙を闘ったが、敗北しており、そのマニフェストは国民から拒否されたものとして捉えることができる。

前回の総選挙、05年のいわゆる「郵政選挙」では自民党が大勝している。以後、総選挙は行われていないのだから、その時に小泉首相が掲げたマニフェストは正統性をもつと言えるかもしれないが、現在どれだけの意義があるのだろうか。現実的にすでに過去のものとなった内容もあれば、状況の変化によって変えるべきものもあるはずである。

今回の『マニフェスト白書』は今年6月までを対象期間とし、05年の総選挙ならびに昨年の参院選でのマニフェストの進捗を評価している。つまり、福田政権以前のマニフェストを福田政権がいかに取り組んだかという評価になっている。これにどれだけの意義があるのかはわからない。なぜなら、福田政権にとって、それらのマニフェストがいったいどのような位置づけだったのか明確ではないからである。それがわからなければ、マニフェストの実施状況を検証する意義も不明瞭になる。

そもそもこうした状況が生じるのは、マニフェストサイクルが確立していないのが理由である。マニフェストが国政選挙で登場したのは2003年のことだ。その後、いくつかの選挙を経て、政党がマニフェストを掲げることは定着したといえよう。しかし、政権の政策決定プロセスの中でマニフェストが生かされているというレベルにはまだ達していない。マニフェストとは政党と有権者との約束である。そのマニフェストを、選挙⇒実行体制⇒政策実行⇒達成評価⇒選挙、というプロセス、すなわちマニフェストサイクルを通じて実施していくのがマニフェストの意義である。そのマニフェストサイクルが確立されているようには見えな

いし、またそれが確立されなければ、マニフェストの位置づけは明確にはならない。

今回の検証で分かったことは、マニフェストの個別政策は、政権がめまぐるしく変化したにもかかわらず、淡々と進められているものが多いという意外な結果である。しかし、それらの多くは、すでに行政レベルで規定路線として進められている政策であるように思われる。換言すれば、与党のマニフェストは政府の政策の中で継続的に影響を維持しているように見えるが、むしろ与党は行政の継続的な政策をマニフェストに反映させているのではないかということだ。つまり、マニフェストサイクルは逆の流れになっている可能性がある。本来マニフェストは政党の政治的判断で掲げられ、与党となった暁に、必要とあれば立法措置がとられ、政策へと落とし込まれていくべきもののはずである。

前回の参議院選挙でねじれ国会となり、衆議院の解散総選挙を求める声が高まっている。今回の福田首相辞任によって、その時期は早まっただろう。総選挙となれば、各政党は政権獲得後の政策運営に向けた新たなマニフェストを掲げることとなり、寄って立つマニフェストが不明瞭となっている現状は払拭できる。

しかしながら、ここで重要なのは、そのマニフェストが、行政が既定路線として進めている政策を掲げるようなものではなく、新たな政治判断によるビジョンとその実現に向けた具体策を示すものでなければならないということである。さらには、そのマニフェストをいかに政府の政策に反映させていくのか、そのプロセスを明示しなければならないということである。

マニフェストはいまその意義を問われている。マニフェストのあり方については、あらためて本文で論じるが、これまでのようなマニフェストをまた掲げ、マニフェストサイクルも確立しない状況が続ければ、マニフェストは選挙のための単なる客寄せ看板となってしまうのは必定であり、それを検証することもまた意味のないことになってしまうだろう。

2008年9月8日

PHP マニフェスト検証委員会 2008

事務局長 永久寿夫